

海外短信



～メキシコ～

桜の季節はハカランダ

原田工業株式会社

3月日本滞在最終日ホテルの窓から2年ぶりに桜の花を見た後、メキシコ・ケレタロ州に戻りました。当地では日本の様な、桜前線のニュースもありませんし、もちろん桜の木自体を見ることもありません。

私の出身は青森で、お城と桜のコントラストが常に心の何処かにあります。そんな望郷の念にかられる時期に、心を和ませてくれる“ハカランダ”という木が桜満開のように幹線道路を青紫色一色に変えて、水道橋の下をくぐって更に青紫色が続きます。

空は雲ひとつ無い真っ青、街を水枯渇から救った水道橋は歴史を感じさせる茶色、木々は濃い緑、その中に突如現れるハカランダの不思議な青紫色。この色覚を楽しめるのが約3週間。因みにこのハカランダ、桜の様に花びらがヒラヒラと落ちるのではなく、花ごと落ちます。本当なら、日本風にお花見をしたい気持ちですが、メキシコでは外での飲酒は禁止です。桜餅のようなお菓子もありません。ここだけは、我慢しなければなりません。

しかし、花に対する思いは、メキシコの方々も同じで、何の変哲もない木々から花が咲き始めると、春の訪れを実感するのだそうです。日本からの我々は、青紫色の満開に毎年驚き、風の後には青紫色に色をかえた石畳を歩き、故郷とは異なる春を満喫しています。

